

# 日刊 動労千葉

1988. 9. 20  
No. 2094

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

シリーズ①

とさ 10月25日 3日  
(日) (日) (日)

南房総研修センター  
（千葉県君津市豊英六五九一）  
TEL. 〇四三三(三)二二二二

十月二日（三日）、動労千葉第十五回定期大会が南房総研修センターで開催されます。今定期大会は「分割・民営化」から一年余、二波にわたるストライキに続いて、「四・一（体制）粉砕をかけた長期波状ストライキ決起をはじめとしたこの間の闘いの成果を打ち固め、更なる組織強化と新たな闘いを準備する重大な大会となります。職場での討論を深めながら、大会の成功をかちとろう。代議員はもとより、傍聴に全力で結集しよう！

第一に、今大会はなによりも、「分割・民営化」体制にたいする反撃として闘いとられた五・一八から開始した千葉駅、亀戸、千葉みなと、銚子、館山のストライキの成果を打ち固めることにあります。われわれは、本年四月以降の千葉支社車務課長河野ら一部不良職制と動労革マル・鉄道労連一体となった動労千葉根絶やし攻撃に対して、断固とした反撃に起ちあがりました。「分割・民営化」の狙いが動労千葉や国労の破壊と鉄道労連による「一企業・一組合」の国鉄労働運動破壊にあるとき、われわれの渾身の怒りを込めたスト決起はこの攻撃を物の見事に打ち破り、また国鉄労働運動の闘う再生をかちとる闘いとしてかちとられたといえます。

しかし、このスト決起に追い詰められた敵は、京葉線訓練開始に伴う配転や津田沼などを始めとした乗務停止の攻撃などを見れば明らかとなり、より露骨な形での強権的労務支配を強めており、われわれはより強力なストライキを軸とした闘いをかちとるための組織強化を今大会をとおして確立しなくてはなりません。

第一に、九〇年三月・清算事業団の三年間の期限切れを前に、選別・排除された十二名の仲間の原職奪還と、解雇者を守り抜く組織・財政基盤の確立する闘いを今大会を期してより一層強化しなければなりません。とりわけ、清算事業団をめぐる闘いはこの一年間の闘いに勝負がかかっています。政府・自民党の清算事業団五〇〇〇名の再解雇の攻撃を打ち砕き原職奪還の闘いを更に強固なものとしましょう。

第二に、これと並んだ九〇年にむけた闘いは、三里塚二期攻撃＝強制代執行との闘い、右翼労戦「統一」との闘いをはじめとした反動攻撃との闘いなど、重大な政治決戦となります。リクルート疑惑、なだしお事件、大坂府警ネコババ事件などをはじめ自民党政治は腐敗を深め末期的症候を示しています。「消費税」導入などの軍事大国化・生活破壊の攻撃にでてきています。この重大情勢に対し、野党は屈服を深めるばかりです。いまこそ、戦争と反動の攻撃と断固闘う大衆運動をまきおこさなければなりません。

動労千葉の掲げてきた「八〇年代に通用する自前の労働運動」の真価を発揮するときです。今大会で「九〇年」を展望した闘う方針を確立しようではありませんか！

第三に、今大会は、自民党との連合を深める動労革マル・鉄道労連を一掃する闘いの確固とした方針を確立しなければなりません。鉄道労連は労働組合などよべる代物ではありません。革マル・松崎は、旧鉄労グループとの亀裂を深めながらも、自民党や会社当局との連合にのみこみ、闘う労働者・労働組合の破壊攻撃を画策しています。動労革マル・鉄道労連の一掃なしに国鉄労働者の勝利はありません。

△王組組員△口貝のみならず！今大会は極めて重要な大会です。全組合員の討議を深め、圧倒的な結集をもって成功をかちとろう！

# 来15回定期大会の成功にむけて